

○平成28年台風10号、令和元年東日本台風では、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮古山田圏域において事前防災対策を進める必要があり、圏域内河川の河道掘削等により、洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図る。



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JHs 53-GISMAP55267号

○平成28年台風10号、令和元年東日本台風では、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮古山田圏域において事前防災対策を進める必要があり、圏域内河川の河道掘削等により、洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図る。







○平成28年台風10号、令和元年東日本台風では、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮古山田圏域において事前防災対策を進める必要があり、圏域内河川の河道掘削等により、洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図る。

